

## 平成28年度 実施事業の概要

施設名: 国立妙高青少年自然の家
教育事業名: 妙高ドリームキッズプロジェクト 幼児キャンプ 2016 ～わくわく!チャレンジ!! 森のたんけん隊～
期間: 平成28年8月19日(金)～8月21日(日) (2泊3日) 夏キャンプ 平成29年1月20日(金)～1月22日(日) (2泊3日) 冬キャンプ
対象及び参加人数: 4, 5 歳児の幼児とその家族 夏: 27家族、冬: 16家族
目的: 幼児の自立、基本的生活習慣の育成、社会性の育成 保護者の子育て支援 保育者の資質向上 学生ボランティアの資質向上
事業概要: 本事業「幼児キャンプ」は、幼児期における自然体験活動の普及・推進を目的にした「妙高ドリームキッズプロジェクト」の中の一つである。4, 5歳児の幼児とその保護者を対象に夏・冬の年二回実施した。夏には、森遊びや高原野菜収穫体験、キャンプファイヤーや工作等を行い、冬には、雪像づくりや餅つき、雪灯籠造りや雪上運動会等を行った。
<b>成果</b> ①自分のことは自分でできる子、自分でやろうとする子が増えた。 ②引っ込み思案だった子が、積極的に友だちとかかわれるようになった。 ③保護者が子どもを客観的に眺めることで、わが子の意外な一面を再発見する機会となった。 ④保護者と妙高市園指導主事、施設担当職員とで行った、情報交換「子育てカフェ」では、子育てに関する悩みや思いを共有できた。 ④妙高市保育者が企画や運営に携わったことで、保育者自身の指導・支援の資質が向上した。 ⑤ボランティアの学生が保育者の補助を行ったことで、幼児とのかかわり方等について実体験を通して学ぶことができた。
<b>課題</b> ①荒天時や事故発生時などの対応について再検討し、万が一に対する備えを万全にする必要がある。 ②ボランティアの学生との打合せが当日のみだったので、事前のスタッフトレーニングをより充実させる必要がある。 ③幼児が「挑戦」できるようなプログラムをキャンプの中に、取り入れていく必要がある。